

千里中央駅周辺
まちづくりワークショップ

これから千里 まちの記憶を つなげよう！

●ワークショップの趣旨

1962年のまちびらきから始まった千里ニュータウンの歴史。これまで長い年月をかけて、さまざまな人々の暮らしが積み重なり、まちの風景がかたちづくられてきました。そして、ライフスタイルの変化にともない、まちの風景も少しずつ変化していきます。

本ワークショップでは、まちに根付く魅力を探り、未来の暮らしを想像し、千里のこれからを考えるヒントを見つけながら、未来へとつなぐ方法をみんなで考え、実践していきます。

第1回 12/13 ⑤ まちの記録をとろう

千里のまちを歩きながら、風景・音・料理・祭り・人・遊びなど、次の世代に伝えたい「まちの資源」を探します。

第2回 12/21 ⑤ 記憶を次世代につなぐ

1回目で見つけた「まちの記憶」を「次世代につなぐ活動」として考えます。

第3回 1/24 ⑤ 記憶をつなぐ取り組みの検討

「次世代につなぐ活動」をさらに具体的にし、参加者のみなさんと一緒に、どのような取り組みが実現できるかを考えます。

第4回 2/14 ⑤ 記憶を活用したフェスの検討

みなさんと見つけた「まちの記憶」を多くの人たちに引き継ぐお披露目会「千里ひとつなぎフェス」に向けた準備をします。

3/28 ⑤ 千里ひとつなぎフェス

これまでの取り組みの成果を発表し、千里や周辺に住む人たちにまちの記憶を引き継いでいきます。

詳細は豊中市HPへ



これまでの 「これから千里」の取り組み

2018年度

千里中央地区活性化基本計画

千里中央駅周辺の再整備の方針を示した計画。官民が連携するエリアマネジメントを推進。

2022年度

千里中央駅周辺のこれからの考える ワークショップ2022

これからの千里が“こうなったらいいな”という将来像を考えました。



2023年度

せんりまなぶくらす

本事業に参画する企業のみなさんと、千里のことを学び企業として地域と連携するアイデアを考えました。



千里中央駅周辺のこれからの考える ワークショップ2023

企業からのアイデアをさらに地域のみなさんとブラッシュアップするワークショップを開催しました。



千里アクティビティガイド —これ、せん？—

ワークショップで生まれた地域と企業が連携して実現したいアイデアをアクティビティガイドとしてまとめました。



2024年度

千里のの交流会

地域住民と企業のみなさんが交流できる機会づくりとして交流会を開催しました。



千里中央駅周辺のこれからの考える ワークショップ2024

「これせん」の実現に向けて、具体的な活動を考え実践するワークショップを開催しました。



せんりひとつなぎフェス

千里中央駅や東町公園を会場に、ワークショップから生まれた活動を実践しました。



千里中央駅周辺
まちづくりワークショップ

これから千里 まちの記憶を つなげよう！

第3回

—記憶をつなぐ取り組みの検討—



プログラム

1. はじめに
2. 前回のふりかえり
3. ひとつなぎフェスについて
4. ワーク「企画づくり」
5. 発表
6. おわりに

主催：豊中市

各チームの進捗共有

前回のワークショップの後、各チーム相談会を開催し、その進捗を報告しました。

まちあるきチーム

◎企画内容

千里中央駅周辺のまちの「記憶」や資源を、来場者に気づきとして届ける方法を検討してきました。その手法として、実際にまちを歩く体験を重視し、「まち歩き」を軸としたプログラムを当日に実施する予定です。

他地域の事例調査や謎解きの問題、難易度の設定などを検討しています。今後は、運営体制や配布ツール(リーフレット等)の作成などを詰めていく予定です。また、今回の取り組みを一過性のイベントにとどめず、継続的な取り組みにつなげていく可能性についても模索しています。

ワークショップチーム

◎企画内容

子どもから大人まで参加できる大声コンテストや、事前に集めた千里に関するメッセージの展示、フォトフレームを使った記念撮影を行う予定です。場所はパルのステージを中心として検討しています。

企画の検討を進める中で、人の動線整理やスタッフ配置など、運営面で検討すべき点が多くあります。協力してくれる方の募集も含めて詰めていく必要があります。特に写真撮影については、撮影が得意な方に協力してもらえるとよいのではないかと、という話が出ています。

展示チーム

◎企画内容

千里中央駅周辺のまちの「記憶」や資源を、来場者に気づきとして届ける方法を検討してきました。その手法として、実際にまちを歩く体験を重視し、「まち歩き」を軸としたプログラムを当日に実施する予定です。

「キットパス」という、ガラスに描いて消せる画材を使用して、コラボのガラスに絵を描く予定です。また、千里の昔から現在の写真、そして未来のイメージを見せる展示も検討しています。写真については、北摂アーカイブスなどの資料を活用できないかという話も出ています。

ひとつなぎフェスについて

3月28日(土)に開催予定で、時間は10時から15時を仮設定していますが、プログラム内容に応じて延長することも検討します。昨年度のフェスでは、駅周辺の人通りは10時半から12時頃と、13時から14時頃に多い傾向にありました。

開催するプログラムは、3つのチームの企画の他、全体の受付となる事務局ブースをコラボ入口前に設置する予定です。来場者が複数のプログラムを体験できる形を目指します。また「千里竹の会 豊中」と連携したプログラムも開催予定です。



▼昨年度のひとつなぎフェス



フェスに向けた企画検討の発表

フェスの開催にあたり、各チームの企画の詳細を考えました。

まちあるきチーム



謎解きまち歩き企画

コラボをスタート地点とし、参加者に謎解き冊子を配布します。冊子には、千里中央に関するクイズや謎解きがあり、それを解くことで次のポイントが分かる仕組みです。4か所ほどのポイントを巡って、再びコラボに戻ってくる予定です。謎解きの内容は、実際にその場所に行かなければ答えが分からない問題を盛り込み、必ず現地を歩いてもらう構成にします。参加特典として、景品の配布や、マチカネくんと記念撮影などを検討しています。2月以降には実際にルートを歩いてみて、車いすやベビーカーでも無理なく回れるかといった動線確認も行う予定です。

ワークショップチーム



企画①:事前にメッセージを募集

QRコードを読み取り、千里中央についての思い出やメッセージを集めます。「千里中央のここが好き」「これからの千里中央に期待すること」「これまでのまちへの感謝」などを中心に集めたいと考えています。

企画②:集めたメッセージを「ラジオブース」のような形で発信

私たちがDJ役となり、集まったメッセージを読み上げるほか、当日の来場者にも飛び入りで参加できる企画にしたいと考えています。

企画③:ステージを使った大声コンテスト

当日もメッセージを集め、その内容をステージ上で叫ぶ企画。デシベルを測定し、ランキング形式で楽しめる参加型企画にする予定です。マチカネくんが来場予定のため、記念写真ブースを設け、集客につなげたいと考えています。また、他チームとの連携も視野に入れています。ラジオの時間を活用して、まち歩きチームの謎解きの進捗状況を紹介したり、展示チームの内容を案内したりするなど、フェス全体を一体的に盛り上げる役割も担えればと考えています。

展示チーム



企画①:過去と現在の写真展

過去と現在の千里中央の風景を比較する写真展示を考えています。北摂アーカイブスには、まちびらき当初の写真が300枚以上の写真があるため、そうした写真と現在の写真を並べて展示する予定です。

企画②:これからの千里中央に期待するメッセージコーナー

どんな場所や活動があったらよいかを書いてもらうコーナーを設けたいと考えています。ワークショップチームの企画と内容が重なる部分もあるため調整したいと考えています。

展示場所について

展示場所は、コラボのガラス面や、ステージ裏のガラス面を考えています。柱により区切られた形状を活かし、「過去・現在のブース」と「未来のブース」を並べる構成を検討しています。「どこでもドア」のようなピンク色の扉を通して未来へタイムスリップする、といった演出も考えています。当日限りで終わらせず、今後のまちづくりの記録として掲示・保存できる形に残したいと考えています。